

平成 31 年度 事業計画書

(平成 31 年 1 月 1 日～平成 31 年 12 月 31 日)

はじめに

当財団は平成30年9月7日に設立され、定款に定める事業の目的に沿って、奨学金支給事業をスタートした。初年度は1名の留学生に対して奨学金給付を行うと共に、財団の組織、運営体制を整備し、次年度以降の事業拡大に備えてきた。

事業の目的

当法人は、化学、化学工学等の分野の研究を志す有為な人材への支援と同分野の研究に対する助成を通じて、直面する社会問題を解決し、持続可能な社会を実現するための一助となすことを目的とする。

平成31年度事業計画

平成31年度は、三菱ガス化学記念財団の本旨に則り、以下の事業を推進するものとする。

1. 事業の概要

化学、化学工学分野等で大学、大学院に在学する留学生、特にアセアン加盟国からの留学生に対する奨学金の給付を行う。

2. 事業の内容

(1) 奨学生の募集、選考及び奨学金支給

平成31年度は、指定大学を平成30年度の東京理科大学に、東京大学、東京工業大学、早稲田大学、慶応義塾大学を加えて計5校として、その推薦に基づき、奨学生を採用し奨学金を支給する。秋募集では、東北大学及び筑波大学を加えて計7校とする。

- | | |
|----------|-------------------------------|
| ① 募集人員 | 新規5名程度（予定） |
| ② 奨学金支給額 | 月額15万円 |
| ③ 給付総額 | 855万円：15万円／月×(12ヶ月×1名+9ヶ月×5名) |
| ④ 採用面接 | 5月下旬及び11月上旬を予定 |

(2) 奨学生との交流

奨学生の日本での生活のサポート、また留学生活がより実りのあるものなるよう奨学金の支給に留まらない支援を行う。また、平成31年度の奨学生決定後に懇親会、秋に交流会等を開催する方向で検討を進める。

3. 財団組織・体制整備

財団の組織・体制と運営を軌道に乗せると共に、財団運営に必要な諸規程等の整備を進め、財団の事業運営を円滑なものとする。

公益認定を受けて公益財団法人へ移行することを前提に、公正、透明な財団運営を進めていく。公益認定への審査申請について、来年2月開催予定の理事会及び3月開催予定の定時評議員会で改めて提案し承認を頂く予定である。

4. 基本財産の運用

(1) 運用基本方針

- ① 長期保有を前提とし信用格付が高く一定の収益が期待出来る運用資産を取得する。
- ② 運用は、円建てで行う。
- ③ 取得する運用資産は、下記の格付機関の格付 A 以上である事。
 - ・ 日本格付研究所 (JCR)
 - ・ 格付投資情報センター (R&I)
 - ・ ムーディーズ・インベスターズ・サービス (Moody' s)
 - ・ スタンダード・アンド・プアーズ (S&P)
- ④ 取得資産は半期毎に時価評価を行い、公益法人会計基準並びに企業会計基準に準じて管理する。保有基準は格付 BBB 以上とする。
取得資産の健全性、収益性が確保出来ない場合、或いは上記会計基準により減損が必要となった場合、事務局長は理事長に報告すると共に定款に基づき理事会及び評議員会にその処分を諮る。
- ⑤ 運用資産の取得に際しては、決裁・事務局運営規程の第7条に則して決裁を受けるものとする。

(2) 基本財産の取得

本財団設立者である三菱ガス化学株式会社より基本財産として平成30年度に寄付金3億円を受け入れ、奨学金事業・管理費の財源とすべく資産の運用を開始した。

平成31年度は更に三菱ガス化学より1億2千万円相当の寄付を基本財産として受け入れる予定である。

平成31年度に取得する運用資産は、別途提案する。

以上